

平成26年度墨田区立押上小学校経営報告書

平成27年3月17日

学 校 目 標	○知・徳・体・情の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成
目 指 す 学 校 像	○学力の向上が図られ、規則正しい学校○安全安心な学校○信頼される学校
目 指 す 子 供 像	○挑戦する子 ○つながる子 ○働く子
目 指 す 教 師 像	○授業力のある教職員 ○情熱あふれる教職員 ○職場に誇りのもてる教職員

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
各教科等指導	学校は、子供たちに確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」力を伸ばすため来年度は、校内研究を通して授業力改善を図っていく。 ・体験的学習や学校支援ネットワークを積極的に活用した学習展開を図り、学習意欲の向上を図る。 ・週1回朝学習を設定して基礎学力や集中力を養う。 ・5・6年生は自学ノートを実施し自主的な学びの習慣を身に付けるようにする。 ・夏季休業中に学習教室を実施して基礎学力の定着を図る。 	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から月1回実施している特別支援委員会をさらに充実し支援の必要な児童に対しての校内の共通理解と具体的な支援のあり方を組織的に進めていく。 ・放課後学習教室を4年以上で実施している。さらに学習内容を個々の課題に合わせ、基礎基本の徹底を図る。 	B	B
	学校は、子供たちの将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間、総合的な学習の時間や特別活動を中心とした教育活動を通して、自己を見つめ目標をもって生活する自覚を育てる。 ・保護者と連携しながら、保護者会、個人面談、学校だより、学年だより等で情報交換を密にしていく。来年度は、夏休み前に個人面談を実施して課題改善を図る。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・適切な指導をしているとは思いますが、学力調査の結果がもう少し伸びてほしい。 ・体力向上にもう少し力をいれてほしい。 ・心の教育にもっと力を入れてほしい。家庭で何をしたらいいかわからない。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
生活指導等	学校は、子供たちの問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の生活指導朝会や年2回の生活指導全体会等やSCとの連携を図り日常的な報告・連絡・相談により、問題行動の未然防止並びに早期発見、迅速な対応を図る。 ・年2回アイチェックの分析により、児童の自己肯定感の向上を図るための具体的手だてを計画的に実施する。 ・5・4年の全員面接やアンケート調査によって実態把握につとめていく。 	B	B
	学校は、子供たちが基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活指導では、本年度実施した長期休業時明けの押上生活カードを活用したあいさつ運動を引き続き実施し、生活習慣を定着させる。 ・道徳の時間並びに全教育活動を通して心の教育を実践していく。そして道徳的実践力を身に付ける ・保護者や地域との連携を重視し、ご協力をいただきながら改善に向けて具体的なお願いをしていく。 	B	B

様式 4

	学校は、子供たちの安全を確保するための取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 登下校については、見守り隊のご協力を得ながら安全を図っている。 校内では、廊下歩行や遊び方のきまりを職員全員で共通理解の上指導していく。 交通安全教室とともにセーフティ（防犯）教室さらにケータイ・スマートホン等の使い方教室を実施していく。 	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域からの意見や要望については、保護者会、学校運営連絡協議会、民生委員懇談会や日常的な問い合わせを含め管理職と担当者で確認し、できることは検討して全職員周知のうえ改善を図ることを徹底する。 行事ごとにアンケートを実施したり、学校評価に協力をいただいたりして把握に努めている。さらに多くのご意見がいただけるようにしていく。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 学校だけの指導だけでなく、家庭でのしつけも大切。 あいさつができない子供が多いように思う。 地域の防災訓練にもっと児童が参加してほしい。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針のもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針をよりわかりやすく発信するとともに学校が組織的に取り組んでいる活動についての成果を知らせていく。 各組織の活性化をするために踏襲するのではなく現状に合わせた活動となっているか見直しを図りながら充実した活動を行う。 	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 実施案では、ねらいについての確認を必ず行い、実施する内容とねらいが一致しているか共通理解して活動する。 教育活動後にはすぐに振り返りをし、次の活動に生かせるようにする。職員会議での共通理解を十分図る。 	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> よりよい環境や設備については、日常的な点検の中で、今後も区への改善を求めたり、限られた環境・施設を工夫して有効活用したりしていく。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> きれいに整備されている。 老朽化している部分もあるようだ。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えていくか。	B	<ul style="list-style-type: none"> よりわかりやすくお便りやHP「校長室から」を活用して発信することによって教育方針や日常の教育活動の様子を伝える。 	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や学校公開ではアンケートを毎回とり、教育活動に生かしている。また「保護者会」「PTA役員会」「学校運営連絡協議会」では、日常的にご意見は聞き、学校全体で共通理解を図るべきことは検討し迅速に対応する。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域を大切にしながら進めようとする意志を感じる。引き続きスクラムを組んでほしい。 PTA行事や地域行事に積極的に参加してほしい。 		

様式 4

2 平成 26 年度学校評価のまとめ

- ・学区力向上に向けて体験学習を重視して学習意欲を向上させたり、放課後学習や習熟度別学習や夏季休業中の学習教室を実施したりしてきた。しかし、成果としては表れていない。継続して取り組んでいく。また、家庭学習の習慣化や生活規律の向上も学力向上のための要因であると考えられるので、家庭、地域にもご理解とご協力をいただけるよう一層、働きかけていく。
あいさつやきまりについて 30%以上の方が不十分であるとしている。昨年度に続き、具体的な手だてを考えていきたい。
- ・学校の安全、安心は、施設の面と児童と教職員意識向上の両面から改善していかなければならない。家庭、地域との連携が益々重要になる。
- ・体力向上に向けての取り組みを期待している割合が 20 パーセント以上の結果になっていることから現在実施している内容について伝えるとともに限られた環境や施設でできる取り組みを考えていく。
- ・問題行動の未然防止並びに早期発見、早期対応のための教職員の共通理解と家庭、地域、関係機関との連携を重視していく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立押上小 学校 校長 島埜 秀男

印